



5/26 一緒に体操できたモン!
菊池北小で「くまモン体操」



菊池北小学校（釘山正二郎校長）の全校児童 305 人が「くまモン体操」を披露しました。この体操は、児童の体力向上を目的に同校の富永泰寛教諭が考案。片足で立ったり飛び跳ねたりなど陸上の動きを取り入れ、子どもに大人気の「くまモン」に親しみながら楽しんで運動できるようにつくられました。当日は本物のくまモンが登場するサプライズもあり、児童たちは大喜びしながら一緒に体操を楽しみました。



児童と一緒に体操するくまモン

5/23 きれいに咲いてね
菊池北中で菊づくり体験



菊池北中学校（田中真司校長）の全校生徒 199 人が菊づくりを初体験しました。これは同校が平成 24 年度から実施している栽培授業の一つで、今回は菊池市菊まつり推進委員会の皆さんに菊作りのノウハウを聞きながら、自分専用の鉢に苗を植えました。1年1組の迫将太くんは「元気に育ってくれるとうれいです」と話しました。生徒が育てた鉢は、秋に開催される「菊人形・菊まつり」に出展される予定です。



自分で植えた苗を手に笑顔を見せる生徒たち

5/25 「おにぎりマルシェ」も大好評!
湯ったり菊池の軽トラ朝市 (毎月第4日曜日開催)



毎月恒例の軽トラ朝市が隈府商店街でありました。この日は市と姉妹都市を結んでいる朝の情報番組「いっぷく!」との企画から生まれた「おにぎりマルシェ」の初出店ということもあり、市内外から多くの人々が来場。店は長蛇の列ができる人気ぶり、「お米があまくておいしい」「野菜や果物も安くて新鮮」など菊池の“食”を満喫していました。そのほか RKK ラジオの生放送や路上ライブなどもありました。



①おにぎりマルシェを出店した「菊池温泉おかみ湯恵の会」の皆さん ②多くの来場者でにぎわうマルシェ (右下は販売したおにぎり) ③菊池女子高生の路上ライブ ④ RKK ラジオ生放送 ⑤エプロンおばちゃんの読み聞かせ ⑥菊池高校生は野菜やパンを販売



5/4 夏に向けて万端だメェ〜
ひつじの毛刈り体験

四季の里旭志のふれあい動物広場で羊の毛刈り体験が開かれました。このイベントは、来場者に動物とのふれあいを楽しんでもらおうと企画したものです。この日は約 30 人の子どもたちがバリカンを手に毛刈りに挑戦。「初めての体験でとても楽しかった」「また毛が伸びる様子を見に来ます」などと話しながら笑顔を見せていました。このほか、ポニー乗馬体験やカンガルーのエサやり体験など、多くの来場者が動物とのふれあいを楽しんでいました。



毛刈りの実演を興味深く眺める来場者

4/22 元気に育て!
菊池川などで鮎を放流

菊池川漁業協同組合（富田正剛組合長）による稚鮎の放流が行われました。この稚鮎の放流は、菊池川、迫間川、合志川の本・支流に生息する魚を保護するための増殖事業として、同組合が毎年行っているものです。

今回は、稚鮎およそ 15 万尾を市内 38 カ所で放流。鮎は、河口から上流へと上っていき、餌場の確保のため一定の縄張りをつくり成魚へと成長していきます。



放流された稚鮎は元よく川を泳いでいきました

5/11 泗水小剣道部が優勝
少年剣道大会

宮本武蔵顕彰祭少年剣道大会が熊本市北区の龍田体育館で行われました。

県内の小中学生が出場する大会で、小学校からは 55 チーム 280 人が出場。強豪ひしめくなか、泗水小剣道部 A チームが見事優勝の栄冠を勝ち取りました。決勝の代表戦で勝利した宮本怜くんは、「『チームのために絶対勝って優勝するぞ』という強い気持ちで試合に挑むことができました」と思いを語りました。



優勝した泗水小剣道部

5/8 白ゆりグループの皆さんが
大型絵本を寄贈

絵本の読み聞かせボランティアグループ「白ゆりグループ」の代表・武藤直子さん（蟹穴）と会員の安武壽美さん（大琳寺）が菊池市中央公民館図書室を訪れ、大型絵本を寄贈しました。同グループは毎年新刊の絵本を寄贈しており今年で 11 回目。今回は「わんぱくだんのはしれ! いちばんぼし」の絵本を贈りました。武藤さんは「夢がある素晴らしい内容の絵本です。多くの子どもたちや団体に活用していただきたい」と話しました。



寄贈した大型絵本を手にする武藤さん①と安武さん②



6/6 大きくな〜れ♪ 泗水幼稚園児が農業体験

菊池少年自然の家が主催する「菊少農っ子プロジェクト」があり、泗水幼稚園（南緑園長）の園児13人がサツマイモ苗植えを体験しました。農業体験を通して園児たちに自然の大切さや感謝の心を育ててもらおうと実施したものです。園児たちは初めての体験に最初はとまどい気味でしたが、慣れてくると「大きくなれ」と声をかけながらとても楽しそうに苗を植えていました。秋には今回植えたサツマイモを収穫する予定です。



優しい手つきでイモ苗を植える園児

6/6 伝統文化を学習 隈府小で能楽体験

隈府小学校（宮川淳一校長）で能楽などの日本文化を学ぶワークショップがあり、3・4年生約200人が参加しました。これは体験学習の一環として同校が開催。同校出身で観世流能楽師の菊本澄代さん・美貴さん姉妹が講師を務め、実際に舞を披露したり、能面について説明したりしながら児童とふれあいました。「般若と戦ってみよう」のコーナーでは、姉妹が扮する般若を相手に、児童たちは必死に手をこすりながら退治していました。



襲ってくる般若に対し手をこすって撃退する児童たち

5/28 温泉街に憩いの場 森の中のまちプロジェクト

森の中のまちプロジェクトのスタートを記念し、菊池温泉街の市有地で記念植樹が行われ、関係者約30人が出席しました。江頭市長が「建物を造らずとも癒やしの環境があれば人は集う。市民参加の運動のスタートです」とあいさつ。出席者全員でプロジェクトの成功を祈りました。このプロジェクトは「癒やしの里」を目指した官民協働の参加型プロジェクトです。今後は木の生育に適した秋口から次々と植樹を開始していきます。



記念植樹する東正観寺の東桂介区長と江頭市長

5/28 合同公開ゼミ開催 「菊池ノ未来ヲ考エル」

熊本大学田中研究室と熊本県立大学柴田研究室の合同公開ゼミ「菊池ノ未来ヲ考エル」が松倉邸で開催されました。ゼミには大学生、高校生、一般市民、市職員約50人が参加。軽トラ朝市やポケットパークの活用法について意見を交わしました。朝市に来ないと手に入らない限定商品の開発、ポケットパークでは足湯だけでなくコーヒーも飲めるオープンカフェを開くなどさまざまなアイデアも飛び出し、参加者全員で菊池の将来を語り合いました。



アイデアや意見を発表する参加者

6/6 菊池市管工事組合 水道施設清掃ボランティア

菊池市管工事組合（木野英明組合長）15業者が、清掃ボランティア活動を行いました。同組合は水道週間（6月1日～6日）に合わせてボランティア活動を毎年行っており、今回は旭志西部第二配水池の配水タンク清掃と草刈りを実施。高圧洗浄機でタンクの汚れを落とすと見違えるほどきれいになりました。木野組合長は「おいしくて安全な水を市民の皆さんに届け、水道事業を通して菊池市の発展に貢献していきたい」と活動への思いを語りました。



配水タンクを清掃する組合員の皆さん

6/6 菊池南中ソフトボール部 全中県予選で優勝

第14回全日本中学生ソフトボール選手権は5月、菊池市多目的グラウンドで開催され、菊池南中ソフトボール部が優勝しました。大会には県下中学校22チームが出場。決勝まで毎試合2ケタ得点を上げる猛打で他チームを圧倒し、8月9日(土)から大阪府で行われる全国への切符を手に入れました。主将の中野理恵さん（2年）は「これまで全国大会出場を目指して頑張ってきました。1試合でも多く勝利し優勝目指して頑張ります」と意欲を述べました。



優勝報告のため市役所を訪れた菊池南中ソフトボール部

6/5～8 第12回全日本ジュニア ボート選手権大会



第12回全日本ジュニアボート選手権大会は、斑蛇口湖ボート場で開催されました。全国から集まった高校生から18歳以下の男女156人の選手が出場。種目は男女共に一人で漕ぐ2千㍎のシングルスカル。予選から決勝まで3日間にわたり熱戦を繰り広げました。本市からは菊池高2年の上田千尋さんが出場。「すごく良い経験になりました。来年は決勝戦まで残れるよう頑張りたい」と抱負を語りました。



①④力強いストロークを見せる選手たち ②菊池高の上田さん ③歓迎レセプションでフルートを演奏する「Angel Breth」

6/2 フランス料理の人気シェフ ココファーム編集長に

フレンチ界のマドンナ加賀田京子シェフがココファームの編集長に就任し、就任式典がありました。加賀田さんはフランス料理の登竜門コンクールで優勝するほどの名シェフ。「安心、安全、子どもたちを元気にする食」をコンセプトに、ココファームの卵や県内の野菜などの食材を使った創作料理を1年間かけて提供します。今回、その第1弾として創作丼「ふれんちDON」と「元気プリン」を披露し、来場者にプリンを試食で振る舞いました。



就任式で握手を交わすココファームの松岡義清社長と加賀田シェフ